

## 特別レポート ドイツ & デンマーク

～ 今回は、美しく美味しいドイツ、デンマークの旅をお送りします ～

前回“カリフォルニアワインとイタリアンのたび”をレポートするとお伝えしたのですが、やはり新鮮なレポートをお届けした方が良くということで、今回は7月にデンマークのHWAM社を訪問した旅をレポートいたします。今回の出張は私、ミツ井が1人で行って参りました。

訪問はドイツ西部のドートムント（ワールドカップブラジル戦があった街）の近く、山間の古い街オルスバークにある、400年の歴史があるオルスバーク社。そしてデンマーク第2の都市オーフス近郊にあるHWAM-ワム社の2社です。時あたかもワールドカップ真っ最中。ドイツの至る所でサポーターがあふれており少しレージーになっている中、スーツを着てまじめ一筋の出張でありました。

### 山間の古い街オルスバーク

ドイツはどこへ行っても美しく、町並みもきれいで感動してしまいます。オルスバークも想像していた通り、歴史があり、美しい街でありました。目的はここにあるその名もオルスバーク社。中心に販売していたスカゲンシリーズが製造中止になるため、今後の方針を話し合うためという少し暗い目的でありました。しかし7月のドイツはあまりにも美しく、ちょうどシーズンのホワイトアスパラガスが後数日で終わりということもあり、料理と自然を堪能した楽しい訪問ではありましたが、



オルスバーク



ホワイトアスパラのことは様々な雑誌で読んでおり、一度は食べてみたいと熱望していたのですが、その食べられる時期の短さから今まで一度も食べたことがありませんでした。到着の夜、山の中腹にある地元の人がハイキングの途中に立ち寄りというレストランでホワイトアスパラが食べられると知ったときには、フライトの疲れも吹っ飛んでしまいました。ふっと茹でアスパラに自家製の生ハム。その上に少し薄味のホワイトソースがかかっているといった、シンプルな料理なのですが、暮れ始めた牧場の景色、ビールにワイン。久々の満足いく夕食になりました。

そして最後に、この時期しかできない彩りの新芽のアイスクリーム。杉トウヒみたいな木の新芽を細かくしアイスクリームに混ぜたものなのですが、その新芽の香りとほろ苦さがとても良かったです。来年はぜひ日本でも作ってみたいと思わせる味でした。ちなみにビジネスの話は、私たちの思う商品と少し方向がずれたためもう少し検討をといったところであります。

### ドイツからデンマークへ

ドイツからデンマークへは、季節も良かったため、レンタカーで移動することにしました。

目的地デンマーク中部の都市のオーフスまでは北へ700km。天気も良く最高のドライブとなりました。しかし遠かった。車はフィアット プント。ちっちゃなオレンジ色の車で1300cc。制限速度のないアウトバーンでは、ちょっと荷の重いドライブでした。途中、ドイツ各地で行われているワールドカップのサポーターが乗ったバスや乗用車でアウトバーン上は大騒ぎ一決して誇張ではありません。大きく国の名前を書いたバスを同じ国のサポーターが追い越すたびに手を振り、クラクションを鳴らしていく。こんな光景が延々と続くのです。しかも時速160kmで。デンマーク オーフスに到着したのは夕刻。といっても暗くなるのが10時頃ですから、まだ街は明るく中世の港町はまだ活気にあふれていました。教会を中心にした石畳の古い町並みを持つオーフスは、デンマーク第2の都市。そして最大の港町。また学生の街で知られています。ホテルはその旧市街に港から流れ込む運河沿いのレストラン街の中にありました。ちょうど大学の卒業シーズンで、街は卒業パーティーで盛り上がっている学生であふれていました。あちこちのレストランでクラス単位のパーティーをした後、デコレーションをしたトラックに乗り込み、奇声を上げ街中を練り歩くのがどうもオーフスの大学の伝統のようでした。はじめはびっくりしてそしておもしろがったのですが、滞在中これが延々と繰り返されていた訳で、最後には、いったいデンマークの学生ってやつは、と行った感情になってしまいました。

### 肝心の仕事の話

肝心の仕事は到着の翌日、早朝からHWAM社にて、ミーティングにつぐミーティングで終始しました。

楽しい夕食も、書類と電卓を片手に、日本でのビジネスプランに終始すると行った状況でした。

これは僕が望んだことではなく、HWAMの2代目ステファンのまじめな性格によるものでした。



オーフス、学生は卒業パーティーで盛り上がる！

非常にまじめで、これはデンマーク人の気質なのか、HWAM家特有のものなのか、とにかくパートナーとしては信頼できるものだと思えるのでした。HWAMの詳しい情報は、間もなくホームページにアップする予定ですので楽しみにお待ちください。待ちきれない方は <http://www.hwam.com> でご覧ください。(別紙、Informationでご紹介しています！)

### ワールドカップ

紙面も少ないため、デンマークのことはまたいつかお伝えすることとし、やはり最後にお伝えしなければならないのはワールドカップのこと。デンマークから帰りのフライトが出るフランクフルトへは、また愛車プントで700kmのドライブ。途中、中世の美しい街 Celle で一泊し、ロマンチック街道を南下して行きました。フランクフルトの街は、ワールドカップ一色。特にホテルのすぐ前がフランクフルト駅で、ドイツ国内に移動する拠点となっているため、各国のサポーターでいっぱいといった感じ

でした。日本のサポーターはブラジル戦に負けてしまい、決勝リーグの夢も断たれ、あまり見かけませんでした。それでもずいぶんたくさんの方がいたようでした。帰国する前日、決勝リーグを見に来た当社経理部の蒲谷のご両親と一緒にホテルのテレビでドイツvsスウェーデン戦を観戦しました。

試合後夕食を食べに街へ出ようとしたところ、スウェーデン戦の勝利に酔った市民が街中であふれて大変な騒ぎになっていました。あたかも阪神優勝決定後の道頓堀といったレーマー広場。ドイツ人も阪神ファンもうれしいときは皆一緒、と感心しながら広場脇のビアホールでソーセージをつまみにビールをいただきました。

駆け足で出張旅行を書いた訳ですが、十分上手にお伝えできなかったことをお詫言ひ今回は終わりにさせていただきます。詳しいお話はストーフ祭りでお会いしたときにさせていただく機会があるかもしれません。

レーマー広場  
ワールドカップに湧く！→



オーフス



## 郡山営業所より New スタッフ紹介

今年の1月に入社しました田村寿浩です。妻一人子供三人の五人家族です。出身は札幌市でバリバリの道産子です。休みの日は、もっぱら野球観戦ですが、家でゴロゴロしている事も多いごく普通の38歳でございます。

DLDに入社して、日々薪ストーブに触れる事で、日に日にストーブの魅力に取りつかれております。じんわりとくる暖かさ、炎のゆらめきを眺めつつ体だけではなく、心まであたたかい気持ちになる薪ストーブ。非常に良いものです。まだまだ勉強不足のところはありますが、薪ストーブの良さを今後とも一人でも多くのお客様に伝えていけたらと思っております。(田村)

〇はじめまして、今年の5月に工事部スタッフとして入社いたしました板橋貴です。まだまだ入ったばかりで分からない事だらけであたふたてんでこまいですが、より早く覚えられるよう日々がんばっています。

さてそれでは私の地元を紹介したいと思います。私は会津の山奥の山都町出身でその名物が『そば』です。またこのそばが旨いのなんの!! 飯豊山の雪解ナ水により川には岩魚、鮎、山には山菜など、自然豊かなところ。是非近くまでお越しの際は、お立ち寄り下さい。これからもこのDLDで、一生懸命お客様方に気に入って頂きますように

頑張っていきますので、宜しくお願い致します。(板橋)

〇はじめまして、郡山営業所の桑原です。最近、薪ストーブの魅力を発見しました。ショールームにいらっしゃるお客様のお話すべてが、その答えです。どのご家族にもそれぞれ違ったお考えや思いがあり、ストーブにまつわるお話をたくさんしていただきました。『これからの季節が楽しみで待ち遠しいよ。』と、おっしゃるお客様のご自宅では今年も薪ストーブが定番を待っています。これからも素敵な話をたくさん聞く事が出来るかと思うと、とても楽しみです。(桑原)



左から、板橋、桑原、田村  
よろしくお願い致します!

## 名古屋営業所より

こんにちは、名古屋事務所担当の平沢です。現在守山区内で工務店様のご好意で空き事務所をお借りして



私一人で活動しております。近くに庄内川が流れ、休日には家族連れやスポーツ少年たちで賑わいます。

今はまだお客様をお迎えしてという場がありませんが、名古屋市内にショールームを構えるために物件探しをしている所です。皆様お気軽に立ち寄っていただけるショールームをめざしております。どうか、楽しみに待っていただければと思います!



## カスタマーサービスより

### ～ 薪の燃焼の仕組みを知る ～

前回は薪の乾燥についてお話ししましたので、今回は薪の燃焼の仕組みについてお話ししたいと思います。

薪ストーブは言うまでもなく、薪が燃えるときに放出する熱エネルギーにより暖をとります。薪を効率よく燃焼させれば、少ない薪でより暖かく薪ストーブをお使い頂けると思います。それでは、薪が燃焼するときどのようにして熱が発生するのか説明していきたいと思います。

一般に燃焼とは元素や化合物の急激な酸化といわれ、その際に熱が発生すると云われています。木材が燃える際の燃料となるのは、木材全体ではなく、中に含まれるリグニン(木質素)とセルロース(繊維素)です。これらの燃料と酸素が化学反応して二酸化炭素を生成するときに熱エネルギーを発生するという仕組みです。

薪が燃える過程を順に追っていくと以下ようになります。

- 1) 薪に火をつけて、90° C以上で薪内部の水分の蒸発が起こります。この時薪の水分が多いと乾燥に費やされるエネルギーが多くなり次の過程である燃焼までの時間がかかってしまいエネルギーの無駄になります。
- 2) 260° C以上になると今度はタールを含んだ気体が放出されます。これはリグニンとセルロースが分解して出来た物で、そのまま温度を上げることでエネルギーの放出が始まります。この時温度が上がらなければ液化してしまいます。これが煙突などに付着するタールです。ちなみにコンバスター付きのストーブであれば、この時発生する気体(煙)を二次燃焼させることができます。
- 3) 放出されたガスに対して十分な酸素があり、温度が600° C位まで上がればガスが発火し、いよいよ燃焼の始まりとなるわけです。いわゆる、これがクリーンバーンの燃焼です。
- 4) ガスが放出した後の薪に残る木炭が燃えるのが700° C以上で、これが熾火と言われる燃焼です。熾火の表面のオレンジ色の光は、酸素と混ざった炭素が高温で燃え、二酸化炭素を発生していることを示しています。この熾火の燃焼が長いほど、薪の燃焼効率が良くなるというわけです。
- 5) 木炭が完全に燃えた後は、燃焼に必要な成分として、無機質な灰だけが残ります。

以上が薪の燃焼の仕組みです。

この冬は、このような薪の燃焼の仕組みを参考にして頂き、夏の間蓄えた貴重な薪を効率よくお使い頂ければと思います。(唐沢)

## News from Bellingham

Summer was in full-swing here in Washington State! 今年の夏も、ワシントン州にとっても素晴らしい気候で、様々なアクティビティーを楽しむことができました。

ワシントン州の中には、"East Side" (東側)と"West Side" (西側)があります。ここベルリンハムはCascade mountainsの西側にあります。この時期はかなり晴天率が高く、ときどき曇る、といった感じ。気温はこちらは日中70° F~80° F (21° C~27° C) ですが、Cascade mountainsの東側はもっと暖かく乾燥しており、気温は100° F~105° F (38° C~42° C)にまで上がります。この乾燥のせいで、東側では森林火災が発生するのです。

"The Cascade mountains"という名前は、美しい数々の滝、という意味を持っています。英語で"Cascade"には、waterfall(滝)の意味があります。みなさまも、訪れたらその名を得た景色を目にすることができるでしょう。

西側の夏のアクティビティーは、crab fishing カニ漁、catching salmon and trout チケとマス釣り、picking wild blueberries ワイルドブルーベリー狩り、bird watching / オードウォッチング...などです。レクリエーションフィッシングライセンス(\$10)を購入し、カニ取り(一日5匹までお持ち帰り可!)、貝拾い、海草拾いなどを楽しむことができます。

先日の日曜日、DLDスタッフSteveとSherryは山へハイキングに行ってきました。トレイルのところどころにまだ雪が残っていましたが、Sherryはa quart(約1L)のブルーベリーを、Steveは湖で二匹のマスを取ることに成功! Smoked trout is a very good thing to have in your Bento (by the way)→マスの燻製はお弁当にも良いですね。。ベルリンハムはDLD本社のある伊弉市とほぼ同じサイズですが、ただいま急成長の街です。DLDの事務所付近でも、新しい10階建てのビルと5階建てのビルが建築工事中です。また、市内の別のエリアでは22階建てのビルが近い将来建つ予定で、シアトルより北側ではいちばん高いビルとなります。

DLDのスウェーデンの床材のビジネスは日々大変忙しく、Mörkaskogのワイドプランクの美しさに魅了されたシアトルやサンフランシスコの建築家、デザイナーからの多くの問い合わせに追われています。最近では新しいセールスエージェント、One Source(Bill O'Neill 社長)とともに、ワシントン州だけでなく、オレゴン、アイダホ、モンタナ、そしてアラスカ州のアーキテクト&デザインコミュニティに販売をしています。



さまざまな高山植物たち→  
Lake Anne トレイル 氷の洞窟→



**INFORMATION!** 新商品 HWAM、ショップオープン、ストーブ祭と、詳しくお伝えしたいニュースが盛りだくさんです。別紙にまとめましたので合わせてご覧ください。

本社 長野県伊弉市高遠町上山田 2435 Phone0265-94-6133 Fax0265-94-5133

ショールーム 東京 東京都港区南青山 1-15-22-102 Phone03-5410-8557 Fax03-5410-8559

長野 長野県伊弉市西春近上島 1122-2 Phone0265-73-1773 Fax0265-73-1793

郡山 福島県郡山市喜久田町 1-86 Phone024-959-5559 Fax024-959-5539

**DLD Inc.**